

本当のクリスマスって何？
人形劇

SCENE I: 外の場面

(カーテンが開く、しんくんとあゆみちゃんが出てくる)

しんくん：あゆみちゃん、今度の日曜日にあるクリスマス会にお友だちさそった？

あゆみちゃん：ううん、まだ。これから行こうかなって考えていたところ。
一緒に行かない？

しんくん：うん、行こう。

ナレーター：しんくんと、あゆみちゃんは早速お友だちのかばくんとみあちゃんを
さそいに行きました。

(かばくんとみあちゃんが出てくる)

しんくん：おーい、かばくん。今度の日曜日、ぼくが行っているバプテスト教会で
クリスマス会をやるんだけど、一緒にこないかい？

かばくん：クリスマス会？何だそれ？クリスマスケーキやごちそうたくさん
でるの？

(クリスマスケーキやごちそうの絵をみせる)

あゆみちゃん：ねー、みあちゃんも一緒にこない？わたし迎えに行から。

みあちゃん：サンタさんやプレゼントもあるの？

(サンタ、プレゼント、クリスマスツリーの絵をみせる)

しんくん：ぜんぜん違うよう。本当のクリスマスがどうしてあるのか、来てみたら
わかるよ。

あゆみちゃん：今年は紙芝居を使って本当のクリスマスを説明してくれるわよ。
それに歌やクイズ、終わりにお茶会もあるわ。

かばくん：行く行く、何時からなの？

しんくん：3時から始まるよ。迎えに行こうかい？

かばくん：いいよ、場所わかるから。

あゆみちゃん：みあちゃんは来られる？

みあちゃん：わたし忙^{いそが}しいから行^いけないかも。

しんくん：じゃーな、かばくん。

あゆみちゃん：みあちゃん、さようなら。

(かばくんとみあちゃんが出て行く)

しんくん：二人^{ふたり}ともクリスマスの本^{ほん}当^{とう}の意^い味^みまったくわかってないような。
プレゼントやケーキしか考^{かん}えていない。

(ケーキやプレゼントの絵^えをみせる)

あゆみちゃん：だからこそクリスマス会^きに来てわかってもらいましょう。

(カーテンが閉じる)

SCENE II： 教会内の場面

(カーテンが開く)

ナレーター：いよいよクリスマス会^{はじ}が始^まる 30 分前^{まえ}です。しんくんと
あやみちゃんは教^き会^{ょうかい}でお友^{とも}だちが来^くるのを待^まっているところです。

(しんくんとあゆみちゃんが出てくる)

しんくん：かばくん忘^{わす}れていないかな。やっぱ^{むか}り迎^いえに行^{ほう}った方がよかったかも。

あゆみちゃん：まだ少^{すこ}し早^{はや}いわ。もう少^{すこ}し待^まってみたら。みあちゃん来^こられる
かしら。

(かばくんとひつじくんが出てくる)

しんくん：かばくん、こっちこっち。

かばくん：ひつじくんも一^{いっしょ}緒^きに来^きたんだ。

しんくん：よく来^きたね、二人^{ふたり}とも。そろそろ始^{はじ}まるから向^むこうへ行^いって座^{すわ}ろう。

あゆみちゃん：みあちゃんやっぱ^{むか}りだめだったんだわ...

(みあちゃんが出てくる)

みあちゃん：あゆみちゃん、わたし間^まに合^あったかしら？

あゆみちゃん：大丈夫、これから始まるよ。来られてよかったわ。一緒に座ろう。

(カーテンが閉じる)

ナレーター：さあ、わたしたちもしんくんたちと一緒に本当のクリスマスのことを聞きましょう。

かみしばい うた
[紙芝居や歌]

SCENE III： 外の場面

(カーテンが開く、みんな出ている)

かばくん：ぼく赤ちゃんのイエスさまとクリスマスが関係あるのを知ってたけど、死ぬために生まれてきたのは知らなかった。

みあちゃん：ふーん、わたし初めて聞いたわイエスさまのこと。死ぬために生まれてきた何て、かわいそう...

ひつじくん：ぼく、初めて聞いたからあんまりわからなかった。

しんくん：だったら、一緒に今度の日曜日、朝9時半からある日曜学校へ行こう！

ひつじくん：日曜学校って何？

あゆみちゃん：毎週、教会で今日みたいに聖書からまことの神さまについて勉強するのよ。

しんくん：それだけじゃないよ。歌を歌ったり、暗唱聖句も覚えるんだ。

あゆみちゃん：そうそう毎週、外国の切手はもらえるし出席や暗唱聖句のきょうそうもやっているわよ。

みあちゃん：わたし、イエスさまがどうして死ななければいけなかったのか、もっと知りたいわ。

かばくん：ぼくも行こうかな。

ひつじくん：みんな行くなればくも行く。

(カーテンが閉じる)

ナレーター：それから半年後、かばくん、ひつじくん、みあちゃんはほとんど毎週しんくんとあゆみちゃんと一緒にバプテスト教会の日曜学校へ行きました。

SCENE IV： 教会内の場面

(カーテンが開く、みんな出てくる)

かばくん：今日の日曜学校のお話、すごかったね。やっぱりイエスさまは神さまだったんだ。

しんくん：かばくん弟子たちとまるで同じことを言ってる。弟子たちもイエスさまのきせきをみるとき、いつも驚いていたからね。聖書からイエスさまが本当に神の息子だったと言う証拠をいっぱい習ったね。

みあちゃん：それにわたし、なぜイエスさまが死ぬために生まれたのもわかったわ。わたしやみんなのために死んだのよね。

あゆみちゃん：この間、日曜学校で聖書のヨハネ3：16, 17を暗記したでしょ。イエスさまがあなたの罪のために死んでくれたことを信じればだれでも罪を許してもらえ、天国へ行けることを神さまは約束してくれたのよ。

しんくん：そうさ、ぼくたちも信じれば天国へ行けるんだ。すごいよね！

かばくん：来週の日曜学校のお話何だろう？

ひつじくん：早く聞きたいね。

しんくん：じゃ、日曜日にね、みんな。

かばくん：うん。

ひつじくん：さようなら。

あゆみちゃん：みあちゃん、また来週。

みあちゃん：さようなら。

(みんな1人ずつ出て行く、カーテンが閉じる)

(カーテンが開く、みんなが出てきて歌を歌う)